

【 投 薬 】**8 4 4 オキシブチニン塩酸塩（単なる手掌多汗症）の算定について****《令和 8 年 7 月 3 1 日》****○ 取扱い**

単なる手掌多汗症に対するオキシブチニン塩酸塩（アポハイドローション 20%）の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

オキシブチニン塩酸塩（アポハイドローション 20%）は、エクリン汗腺にあるムスカリン受容体と結合することでアセチルコリンの結合を阻害し発汗を抑制する原発性手掌多汗症治療剤であり、添付文書の「効能又は効果」は原発性手掌多汗症である。

原発性手掌多汗症は、特に原因がなく、また、温熱や精神的負荷の有無にかかわらず手掌から両側性に過剰な発汗を認める疾患であり、小児・思春期（20歳未満）に多いとされている。主に甲状腺機能亢進症、褐色細胞腫、糖尿病性自律神経障害等の基礎疾患に起因する続発性とは区別されるが、単なる手掌多汗症であっても当該医薬品が算定されている場合、原発性である蓋然性が高い。

以上のことから、単なる手掌多汗症に対するオキシブチニン塩酸塩（アポハイドローション 20%）の算定は、原則として認められると判断した。